

6. 資 料

(1) ニュースレター第5号 (年1回発行)

発行：2013年6月 11,000部

内容：

- ・副センター長挨拶 「地域のニーズに応えていきたい」
- ・地域と歩む研究紹介 「出張陶芸クラブの創設とその効果」
- ・地域と歩む活動紹介 「生徒理解を深めるための事例検討会」
- ・2013年度公開講座のご案内
- ・2013年度地域貢献事業研究費 採択研究一覧

配布先：

実習施設、就職施設、聖隷グループ、卒業生、同系他大学、臨床教授等、
市内図書館・公民館など

(2) チラシ制作

①公開セミナー・公開講座の案内

種類	講座タイトル
公開セミナー	介護事業におけるリーダーシップ ～何のために、何を目指して～
公開セミナー	多職種連携により認知症・地域包括ケアの 困難事例に立ち向かう
公開講座	発達障がいの特徴の理解と支援
公開講座	“健康で長生き”のための生活術

②2013年度地域貢献事業研究報告会の案内

(3) ホームページの更新

URL: <http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>

大学ホームページ(<http://www.seirei.ac.jp/>) ⇒ 社会との連携 ⇒ 保健福祉実践開発研究センターからリンクしています。



地域と歩む

聖隷クリストファー大学

保健福祉実践開発研究センター

Community-Based Practice and Research Center for Health and Welfare

「市民公開講座『健康で長生きのための生活術』を開催しました！メイン！6/14(土)公開セミナー「対人援助の現場でいかすリーダーシップを磨こう！」の受付を開始しました」

2013年12月24日(火)

専門職向け公開セミナー『多職種連携により認知症・地域包括ケアの困難事例に立ち向かう』を開催しました

12月14日(土)、保健医療福祉の専門職の方々を対象とした公開セミナー『多職種連携により認知症・地域包括ケアの困難事例に立ち向かう』を、国立長寿医療研究センター内科総合診療部長の遠藤英俊先生を講師にお迎えして開催しました。

第1部は遠藤先生による基調講演、第2部は遠藤先生がファシリテーターとなり、社会福祉士・看護師・介護福祉士・言語聴覚士・作業療法士の方々とシンポジストを迎えたシンポジウムを2つの事例を用いて行いました。

介護福祉士や看護師の方をはじめとした福祉・医療の専門職の方々101名が熱心に聴講されました。参加者アンケートでは、「シンポジウムでは事例を使ってそれぞれの職種の見聞が聞けることができた」「これから連携方法を更に広げていくための手がかりをつかめた」など、多職種連携についての前向きな声が寄せられました。また、「遠藤先生のお話がとてもおもしろく、もっと長く講演を聞きたかった」という声が非常に多く、皆様が楽しんで学び取っていただけた様子が伺えました。



第1部 基調講演の様子

カテゴリ

ニュース

ウェブページ

保健福祉実践開発研究センター概要

地域貢献事業研究費

公開セミナー・公開講座

講師・委員等の派遣

保健福祉実践開発研究センターへの依頼

リンク

聖隷歴史資料館

聖隷クリストファー中・高等学校

クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学

① ニュース記事の更新履歴

No.	更新日	ニュース記事タイトル
1	2013/4/30	2013 年度公開講座の受付を開始しました
2	2013/5/28	公開セミナー「介護事業におけるリーダーシップ」申込受付中です
3	2013/6/20	公開講座「発達障がいの特徴の理解と支援」を開催しました
4	2013/7/30	公開セミナー「介護事業におけるリーダーシップ」を開催しました
5	2013/9/20	11/2(土)地域貢献事業研究報告会《ラウンジ》へぜひご来場ください！
6	2013/10/9	公開講座『“健康で長生き”のための生活術』申込みを開始しました
7	2013/10/23	公開セミナー『多職種連携により認知症・地域包括ケアの困難事例に立ち向かう』の受付を開始しました
8	2013/11/27	公開講座『“健康で長生き”のための生活術』を開催しました
9	2013/12/24	公開セミナー『多職種連携により認知症・地域包括ケアの困難事例に立ち向かう』を開催しました

②更新ページ

・地域貢献事業研究

2013 年度地域貢献事業研究費採択課題一覧を掲載

・公開セミナー・公開講座

2013 年度公開講座案内を掲載、インターネット申込フォーム

③当センターへの問合せ方法

ホームページに問合せフォームを設置していますので、ぜひご利用ください。

URL : <http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/form.html>

<p>カテゴリ</p> <p>ニュース</p> <p>ウェブページ</p> <p>保健福祉実践開発研究センター概要</p> <p>地域貢献事業研究</p> <p>公開セミナー・公開講座</p> <p>講師・委員等の派遣</p> <p>保健福祉実践開発研究センターへの依頼</p> <p>リンク</p> <p>聖隷歴史資料館</p> <p>聖隷クリストファー中・高等学校</p> <p>クリストファーこども園</p> <p>聖隷クリストファー大学</p>	<p>保健福祉実践開発研究センターへの依頼</p> <p>共同研究事業へのご参加や、研究支援、講師派遣、専門団体等への委員の派遣等のご相談は、下記にご連絡いただくか、申込フォームから送信してください。</p> <p>聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター 〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL: 053-439-1400 FAX: 053-439-1406 http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/</p>
--	---

貴団体名	<input type="text"/>
担当部署	<input type="text"/>
担当者名	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
都道府県	静岡県 ▼
住所	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
FAX番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/> (確認)
依頼内容	分類 <input type="checkbox"/> 共同研究事業 <input type="checkbox"/> 研究支援 <input type="checkbox"/> 審議会等委員の推薦 <input type="checkbox"/> 講師派遣 <input type="checkbox"/> その他
	詳細(希望日時・期間、分野、人数等) <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
<input type="button" value="入力内容確認"/> <input type="button" value="リセット"/>	

電話でのお問合せ先：053-439-1400（大学代表）



NEWS LETTER

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター
Community-Based Practice and Research Center for Health and Welfare

ニュース
レター

2013.6
VOL.05



CONTENTS

保健福祉実践開発研究センター 副センター長挨拶	01
“地域と歩む” 研究紹介:『出張陶芸クラブの創設とその効果』	02
“地域と歩む” 活動紹介:『生徒理解を深めるための事例検討会』	03
2013年度公開講座のご案内／2013年度地域貢献事業研究費採択一覧	04

地域のニーズに応えていきたい

保健福祉実践開発研究センター副センター長 大場 義貴
社会福祉学部社会福祉学科 准教授

聖隷クリストファー大学では、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づき、保健医療福祉の総合大学として人材育成を行っています。2009年に設置されました当センターの今年度の基本目標は、保健医療福祉分野に関する知的資源を地域に還元し、地域の保健医療福祉の質の向上に寄与することとしております。そのために、1) 地域との共同事業・研究の推進 2) 専門職研修の充実 3) 地域における相談窓口の役割強化 4) 地域の保健医療福祉の政策形成への参画を柱とした取り組みを実施いたします。また、次頁以降に、昨年度の取り組みの一部をご紹介しますのでご覧ください。

是非皆様に、当センターの諸活動をご活用いただき、“地域と歩む”センターとして、貢献して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



大場義貴准教授が研究代表者として2009～2010年度に当センターの地域貢献研究事業費（現在は地域貢献事業研究費）の助成を受け事前調査・準備を行い、2011年6月に第1号が発行された浜松市版保健福祉新聞「らしく浜松」は2013年3月に第3号が発行されました。発達障がい児や身体、知的、精神障がい者らが自分“らしく”心豊かに暮らせるように、保健医療や福祉のさまざまな情報を掲載する市民向けの年2回刊紙です。

保健福祉実践開発研究センターとは

「地域と歩む」をキーワードに、保健医療福祉の実践現場との共同研究・共同事業、地域の専門職向けの研修や一般市民の方々への学習機会の提供、地域の自治体や専門分野に関わる団体への協力、地域に開かれた相談窓口等を通して、地域の保健医療福祉のさらなる質の向上に寄与するための活動に取り組んでいます。





研究紹介

出張陶芸クラブの創設とその効果

研究協力者の所属	浜松十字の園、白梅ケアホーム、憩いの家だーま、ワークセンター大きな木、はるのケアセンター、山の手倶楽部
研究課題名	2011年度採択「出張型陶芸クラブの創設」 2012年度採択「出張型陶芸クラブの効果に関する探索的研究」
対象地域	浜松市

研究代表者

リハビリテーション学部
作業療法学科

鈴木 達也 助教

専門:作業療法、高齢者、地域生活



本研究は本学作業療法学科の設備である陶芸窯を活用したものです。教員と学生ボランティアが必要な用具を持って施設に赴き、参加者の作品を大学の窯で焼き上げる「出張陶芸クラブ」を行いました。2011年度は出張陶芸クラブの創設として行い、2012年度は活動継続とその効果に関して職員の皆様にアンケート調査を行いました。2年間の出張陶芸回数は9施設で40回。高齢者施設を中心に約250名の方々に作品を作っていただきました。

アンケート結果では出張陶芸、学生ボランティアについて9割以上の人が「良い」と肯定的な回答がされていました。自由回答欄には「普段帰宅願望のある人が楽しそうに一生懸命参加していた」、「作品を地域の文化祭に展示した」、「学生との交流にいきいきとしていた」など、今回の出張陶芸を通して一人一人に様々な効果があることが明らかになりました。これからも地域の皆様と共に歩めるような研究事業を進めてまいります。

研究協力者の方より

「出張陶芸に参加させていただき、普段とは違った利用者の真剣な姿を見ることができ大変うれしく思います。作品を自分の手で成形して、色付けや模様を決めてできた作品を手にした時の表情はとてもよかったです。また麻痺のある方、作業に対して前向きに取り組めない方に対しても先生をはじめ、学生さんが上手に指導していただき取り組むことが出来たと思います。本当にありがとうございました。」

白梅ケアホームデイケア 看護師 佐野 美幸様



地域貢献事業研究費 2013年度報告会のご案内

2012年度に地域貢献事業研究費採択をされた研究事業6件のポスター発表を右記の通り開催します。

聖灯祭・ホームカミングデーとの同日開催です。ぜひお立ち寄りください。

日時:2013年11月2日(土)10:00~15:00(予定)
場所:聖隷クリストファー大学

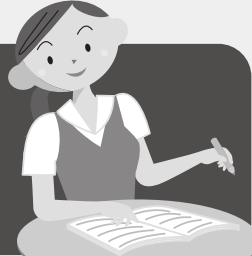
※詳細は保健福祉実践開発研究センターのホームページ等でご案内いたします。



活動紹介

生徒理解を深めるための事例検討会

静岡県公立・私立高等学校養護教諭自主研修会と浜松市きらめき研究会（浜松市立小中学校養護教諭自主研究会）からの依頼を受け、本学社会福祉学部こども教育福祉学科石川瞭子教授がアドバイザーとなり、「生徒理解を深めるための事例検討会」を2011年度より月1回程度（金曜夜18:30～21:00）、継続して開催しています。



Q 活動内容について教えてください。



相談内容に熱心に耳を傾ける
石川瞭子教授（写真中央）

主に浜松市や浜松市外の小・中・高等学校の養護教諭・担任・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・生徒指導教諭等が定期的に集まって事例検討をする研究会です。他に児童家庭福祉相談として幼稚園・保育園等の保育士・教諭等の関係者による自主勉強会があります。

平日夜、多くの参加者は1時間かけて勤務後に駆け付け、毎回20名前後で開催しています。実際に進行形の事例の検討をしますので、白熱した議論が展開され、2時間半という時間はあっという間です。参加者全員が議論に参加します。

Q どのような事例を取り上げているのですか。

事例の内容は、精神障がい・虐待・不登校・いじめ問題・暴力・自傷他害という旧来からの問題のほか、新しい問題として発達障がい・DV・依存・ネット等をめぐる諸問題が絡み合い、複雑な様相を呈しています。

検討事例は参加者が持ち寄りますが、参加者が答えを持ち帰ることよりも、問題に対峙する姿勢や心構え、理解するための情報や勇気をもらうための仲間作りが主な目的です。本学の看護学部教員も参加し、地域との連携を強化しています。現場関係者ならどなたでも参加できます。

事例検討会に関するお問い合わせ

✉ 連絡先 ryoko-i@seirei.ac.jp

参加者様の方より

「さまざまな問題を抱えた子どもたちの自立と幸せを願う養護教諭にとって、石川先生の事例検討会は、毎回“目から鱗”です。

経験値からしか対応できない事例に、仮説で思考の柔軟性を持たせ、入り込めないと感じていた家族の関係を理解することで、対応を考え、学ぶ機会となっています。週末の仕事帰り、やる気をもらえる貴重な研修会です。」



事例検討会の様子

2013年度公開講座のご案内

主に一般の方向けの講座を「市民公開講座」、主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」として開催いたします。詳細はホームページに順次掲載いたします。インターネットまたはFAXでお申し込みください。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

市民公開講座	① 発達障がいに関する講座（終了しました）		② 高齢者に関する講座（全3回）	
	テーマ	発達障がいの特性の理解と支援	テーマ	“健康で長生き”のための生活術
	日時	2013年6月15日(土) 13:30～15:30	日時	2013年11月11日(月)・11月18日(月)・11月25日(月) 19:00～20:30(予定) (※1回のみの参加でも結構です)
	講師	和久田 学氏(子どもの発達科学研究所 浜松オフィス所長、 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 特任講師)	講師	本学社会福祉学部介護福祉学科 教授 中村京子、准教授 野田由佳里、講師 杉山せつ子
	対象	発達障がいに関心のある一般市民の方、専門職者の方など	対象	健康長寿・介護等に関心のある一般市民の方など
公開セミナー	場 所	聖隷クリストファー大学	定 員	各回50名程度
			場 所	聖隷クリストファー大学
	① リーダーシップに関する講座		② IPW(専門職連携)に関する講座・ワークショップ	
	テーマ	介護事業におけるリーダーシップ ～何のために、何を指して～	テーマ	多職種で考える困難事例(仮)
	日時	2013年7月20日(土) 13:30～15:30	日時	2013年12月14日(土) 13:30～16:30
	講師	高橋 義孝氏(株式会社ケアクオリティ 代表取締役社長、 社会福祉士、介護支援専門員)	講師	遠藤 英俊氏(国立長寿医療研究センター内科総合診療部長)
	対象	保健・医療・福祉の専門職の方、職場でのリーダーシップに関心のある方	対象	主に保健・医療・福祉の専門職の方
	定 員	200名	定 員	100名(予定)
	場 所	聖隷クリストファー大学	場 所	聖隷クリストファー大学

講座参加申込みに関するお問い合わせ先

※申込み開始は講座開催日の約2ヶ月前からです。

インターネットからの申込みはこちら

FAXからの申込みはこちら

大学ホームページ ➡ 保健福祉実践開発研究センター ➡ 公開講座 FAX.053-439-1406

URL <http://www.seirei.ac.jp> 画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

FAX用紙はHPからダウンロードできます。

※FAXからのお申し込みの際には、氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。

2013年度地域貢献事業研究費 採択一覧

2013年度は2013年2月に公募、4月に審査を行い、6件が採択されました。

区分A 地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究 **区分B** 地域との基盤作りとしての事業に関する共同研究

区分	研究課題名	研究代表者(所属)	対象地域
A	保健専門職に特化したクレームへの組織的対応研修の実施と評価	伊藤 純子(看護)	浜松市を中心として静岡県全域
	高齢者における身体機能・移動能力と運動時の疲労に対する適応能力に関する研究	西田 裕介(リハPT)	浜松市北区
	資格取得後の介護福祉士における職場定着を促進する要因に関する研究	野田 由佳里(介護)	静岡県全域
B	地域在住高齢者を支えるリハビリサポート体制の構築	金原 一宏(リハPT)	浜松市北区・中区
	地域における言語聴覚士の専門性の活かし方を検証 ～ことばの教室の先生を対象とした機能性構音障害のスキルアップ研修開講～	池田 泰子(リハST)	静岡県西部地域 (浜松市、磐田市、袋井市)
	発達障害をもつ児童への支援の確立、および少～青年期の支援研究	伊藤 信寿(リハOT)	浜松市

所属:看護=看護学部 リハ=リハビリテーション学部 PT=理学療法学科 OT=作業療法学科 ST=言語聴覚学科 介護=社会福祉学部介護福祉学科

【地域と歩む】保健福祉実践開発研究センター ニュースレター 第5号
発行 聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL:053-439-1400
FAX:053-439-1406 Eメール:health-science@seirei.ac.jp

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

公開セミナー

後援：浜松市

講 料
受 無

介護事業における リーダーシップ

何のために、何を目指して

開催
日時

7/20 土 定員 200名

13:30～15:30〔受付・開場 13:00〕

会場 聖隷クリストファー大学 1号館7階 1701大教室

対象 主に保健・医療・福祉の専門職の方、
職場でのリーダーシップに関心のある方

講演内容

リーダーシップとは、共に働く者の共通課題。

介護の世界のリーダーシップ。

リーダーシップを問うことは、生き方と社会を考えること。

介護事業で起業するということ。その思いと確信。

あえて介護事業のニーズを問い直す。



講師

たか はし よし たか
高橋 義孝氏

株式会社ケアクオリティ 代表取締役社長
社会福祉士 / 介護支援専門員
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会
東海北陸ブロック 理事・静岡県支部長
静岡市清水区出身。日本社会事業大学社会福祉学部卒業。
国立医療病院管理研究所専攻課程修了。県社協職員、
病院MSW、代議士秘書、独立型社会福祉士事務所、病院・
施設開設請負などを経て、2008年、株式会社ケアクオリティ
起業。グループホーム7カ所、有料老人ホーム、デイサービスを
運営。趣味はジャズサックス演奏。月1回ライブを行う。

当日生演奏があるかも!?

申込
方法

- インターネットの場合・・・聖隷クリストファー大学ホームページ[<http://www.seirei.ac.jp/>] → 公開講座から
- FAXの場合・・・聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター〔053-439-1406〕まで
(裏面の申込み用紙をご利用ください)

○氏名(ふりがな) ○住所 ○電話番号 ○FAX番号 ○PCメールアドレス ○職業 ○申込み講座名をお知らせください。

申込
締切

7/10 水

※申込締切日以降に受講票を送付いたしますので、当日お持ちください。



聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558
静岡県浜松市北区三方原町3453

看護学部 / 社会福祉学部 / リハビリテーション学部 / 助産学専攻科
大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科 / リハビリテーション科学研究科 / 社会福祉学研究科

TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp/>

交通の
ご案内

- バスでお越しの方
JR浜松駅北口バスターミナル15番ポール
「聖隷三方原病院経由気賀・三ヶ日行」
乗車「聖隷三方原病院」下車徒歩約3分。
- お車でお越しの方
聖隷クリストファー大学第1駐車場をご利用ください。

講 受
料 無

講演・シンポジウムを通し、
施設や在宅における
困難事例の分析から
多職種連携での課題を
明確にします。

多職種連携により 認知症・地域包括ケアの 困難事例に 立ち向かう

第1部 基調講演(13:30~14:30)



講師 遠藤 英俊氏

国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長
1982年滋賀医科大学卒業、1987年名古屋大学医学部
大学院修了。その後、米国国立老化研究所客員研究員、
国立療養所中部病院内科医長などを経て、現在に至る。専門
は老年医学、認知症、回想法など。著者に『よくわかる認
知症Q&A』(中央法規)ほか中日新聞「認知症のはなし」の
連載執筆など多数。

第2部 シンポジウム(14:40~16:30)

ファシリテーター 遠藤 英俊氏

看護師、介護福祉士、社会福祉士、理学療法士、言語聴覚士などの専門職者をシン
ポジストに迎え、「医師による胃瘻造設と看取りを説明された本人・家族支援の
問題」や「糖尿病を合併した脳梗塞患者のリハビリ・家族支援」など、施設や在宅
における困難事例をテーマとする予定です。

申込 方法

- インターネットの場合・・・聖隷クリストファー大学ホームページ[<http://www.seirei.ac.jp/>] → 公開講座から
- FAXの場合・・・聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター(053-439-1406)まで
(裏面の申込み用紙をご利用ください)
- 氏名(ふりがな) ○住所 ○電話番号 ○FAX番号 ○PCメールアドレス ○職業 ○申込み講座名をお知らせください。

開催日時

12/14(土)

13:30~16:30(受付・開場13:00)

会場 聖隷クリストファー大学
1号館7階 1701大教室

対象 主に保健・医療・福祉の専門職の方
(同一施設から異なる専門職の
方がご参加されることを
推奨します)

定員
200名

申込 締切

12/3(火)

※申込締切日以降に受講票を送付
いたしますので、当日お持ちください。



聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558
静岡県浜松市北区三方原町3453

看護学部／社会福祉学部／リハビリテーション学部／助産学専攻科
大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科／リハビリテーション科学研究科／社会福祉学研究科

TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp/>

交通のご案内

- バスでお越しの方
JR浜松駅北口バスターミナル15番ポール
「聖隷三方原病院経由気賀・三ヶ日行」
乗車「聖隷三方原病院」下車徒歩約3分。
- お車でお越しの方
聖隷クリストファー大学第1駐車場をご利用
ください。

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

市民公開講座

後援：浜松市
(発達障害児者支援体制整備検討委員会)

講
料
無
料

託児あり

発達障がいの 特性の理解と支援

近年、学校現場をはじめ、社会的にも注目を集めている発達障がいとは、
「見えない障がい」であることから理解が難しく、適切な支援を受けられないために、
行動上の問題や社会的な困難さに直面してしまうことが少なくありません。
発達障がいのある人に対して、どのような支援が
彼らと彼らの周りの人たちの幸せにつながるのか、
現場での具体的取組の方法や、不登校、いじめ被害といった
発達障がいのある人たちの抱えるリスクについて、話題にします。

開催
日時

6/15^土 13:30~15:30
〔受付・開場 13:00〕

定員
200名

会場 聖隷クリストファー大学 1号館7階 1701大教室

対象 発達障がいに関心のある一般市民の方、
専門職の方など、どなたでも

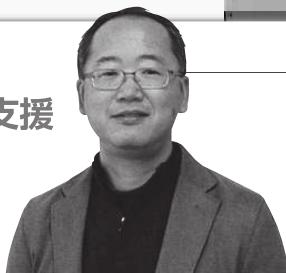
講座内容

1 基調講演

発達障がいの特性の理解と支援

講師 和久田 学^{まなぶ}氏

一般社団法人 子ども発達科学研究所 浜松オフィス所長
大阪大学大学院連合小児発達学研究所 特任講師
浜松医科大学 非常勤講師



和久田 学氏

浜松市出身。1986年静岡
大学教育学部卒業後、浜
松・天竜・浜名等で25年間
特別支援学校教諭を経て、
2011年大阪大学大学院
連合小児発達学研究所博
士後期課程修了(小児発
達学博士)、現在に至る。

2 対談『和久田学 × 大場義貴』

本学社会福祉学部社会福祉学科 准教授
〔臨床心理学、精神保健ソーシャルワーク〕

不登校・ひきこもり、いじめの被害 ～発達障がい児の2次障がいとして～

申込
方法

- インターネットの場合…聖隷クリストファー大学ホームページ[<http://www.seirei.ac.jp/>] → 公開講座から
- FAXの場合…聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター[053-439-1406]まで
(裏面の申込み用紙をご利用ください)
- 氏名(ふりがな) ○住所 ○電話番号 ○FAX番号 ○PCメールアドレス ○職業 ○申込み講座名をお知らせください。
- 託児ご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

申込
締切

6/6^木

※申込締切日以降に受講票を送
付いたしますので、当日お持ちくだ
さい。



聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558
静岡県浜松市北区三方原町3453

看護学部/社会福祉学部/リハビリテーション学部/助産学専攻科
大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科/リハビリテーション科学研究科/社会福祉学研究科

TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp/>

交通の
ご案内

- バスでお越しの方
JR浜松駅北口バスターミナル15番ポール
「聖隷三方原病院経由 気賀・三ヶ日行」
乗車「聖隷三方原病院」下車徒歩約3分。
- お車でお越しの方
聖隷クリストファー大学第1駐車場をご利用
ください。

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター 市民公開講座

あなたの健康を介護福祉学のエキスパートがサポートします！

“健康で長生き”のための生活術

日本は世界一の長寿国となりました。長生きすることは喜ばしいことです。しかし一方で、長患いをする人や介護を必要とする人が増えているのも現状です。せっかくなら健康で長生きしたいものですね。人間が人間らしく誇りをもって生きること、それが本当の意味での長寿です。今回の公開講座は、自立して健康に暮らせる期間をどう伸ばすか、その秘訣とコツを学びます。



参加
無料

後援：浜松市

日 時 ・ テーマ	内 容	講 師
第 1 回 2013年11月11日（月） 18：00～19：30 高齢期のセルフケアを楽しもう	こころとからだのメカニズムを知って、日々の生活の中で手軽に楽しくできるセルフケアを紹介します。	聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 介護福祉学科 講師 杉山 せつ子
第 2 回 2013年11月18日（月） 18：00～19：30 自力で歩き続けましょう	無意識に行っている歩行のメカニズムを理解し、それぞれの身体能力に応じた「転ばない歩き方」について考えます。当日は動きやすい服装でご参加ください。	聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 介護福祉学科 准教授 野田 由佳里
第 3 回 2013年11月25日（月） 18：00～19：30 認知症、寝たきりにならないための生活習慣	小さな生活習慣の変化で健康寿命を延ばすことができます。 脳活・ストレッチ・正しい呼吸法を身につける方法を学びます。	聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 介護福祉学科 教授 中村 京子

会場：聖隷クリストファー大学（浜松市北区三方原町3453）

お申し込み・問い合わせ先

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

TEL:053-439-1400 FAX:053-439-1406

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 <http://www.seirei.ac.jp/>

【申込方法】インターネットまたはFAXでお申し込みください。

○[大学ホームページトップ]⇒[保健福祉実践開発研究センター]⇒[公開講座]

○FAXでお申し込みの場合は、裏面をご利用ください。

【定員】

各回先着50名

※ いずれかの回のみのご参加でも結構です。

【申込期間】

10/10～10/25

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター

地域貢献事業研究報告会

2013年11月2日（土） 聖灯祭・ホームカミングデーと同日開催
1号館4階 1409教室 にて！！ 10：00～15：00

ポスター展示を見ながら
休憩スペースとしても
ご利用ください！
お茶・お菓子も
テイクフリー！



ヴァイオリン・ピアノ
ミニコンサート

11：10～11：30（予定）

看護学部卒業生 伊藤ちささん
社会福祉学部 店村眞知子 准教授



言語聴覚士は療育園の
療育においてどのような
役割を担えるか
～療育園指導員が在籍児
に言語調査を実施する
支援を通して～

地域在住高齢者を支える
リハビリサポート
体制の構築

出張型陶芸クラブの
効果に関する
探索的研究

2012年度に実施された
**地域貢献事業研究の
5件のポスター報告**
を行います！

高齢者の居場所づくり
による街中にぎわい計画
―世代を超えた絆づくり―

就労支援事業としての
水耕栽培の導入および
効果に関する調査研究

地域貢献事業研究：

保健福祉実践開発研究センターが本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する研究事業を対象として配分する『地域貢献事業研究費』により実施された事業研究のことです。

保健福祉実践開発研究センターは、「保健医療福祉分野に係るすべての人たちとの共同事業・研究」を推進し、共同で課題解決を図ります。